

中高生^{のたのめ}の人形浄瑠璃



文楽

ワークショップ

見て、聞いて、さわって 楽しんで学ぶ！ はじめての文楽

大阪生まれの世界遺産、伝統芸能「人形浄瑠璃文楽」。
その伝統芸能を担っているのは、今を生きてる人たちです。
難しいイメージの「文楽」をわかりやすく紹介するワークショップです。
太夫の語りや三味線の音、人形の動きを学び、参加者の中から人形の体験も。
短編ですが文楽らしい名作「伊達娘恋緋鹿子～火の見櫓の段～」もご覧頂けます。



※写真はイメージです。

参加
無料

各60名
程度

事前申込制

申込方法は裏面を
ご確認ください。

申込期間
10.1(水)～11.7(金)23:59

主な出演



太夫
豊竹睦太夫



三味線
鶴澤清丈



人形
桐竹紋臣

ナビゲーター



奥村啓吾
(オペラ演出家)

2025. **11.16** 日

1回目 13:00～14:00
2回目 15:00～16:00

※受付・開場は各開演の30分前

大阪市立中央図書館 5階大会議室

問合せ

一般社団法人 アーツインテグレート
TEL 06-6372-6707(平日10:00～17:30)
artsinteg@gmail.com <https://www.osakabunraku.jp/>

主催：大阪市 文楽を中心とした古典芸能振興事業実行委員会
(大阪市、公益財団法人 文楽協会)

助成：一般財団法人 地域創造 協力：大阪市立中央図書館
企画運営：伝統芸能創出事業体 (一般社団法人 日本の伝統芸能、一般社団法人 アーツインテグレート)



WEBサイト



大阪市



文楽協会



OSAKA
BUNRAKU

中高生 のための
人形浄瑠璃

文楽ワークショップ

にんぎょうじょうりぶんらく

人形浄瑠璃文楽とは？

語り手の太夫と三味線弾き、そして人形遣いの三者が一体となって表現する舞台芸術です。
江戸時代から続く日本を代表する伝統芸能のひとつで、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。

たゆう

太夫

登場人物すべての台詞や心情を一人で語り分け、物語を展開していく重要な役割を担います。

しゃみせん

三味線

文楽では「太棹」と呼ばれる三味線を用います。
その太く低い響きで、情景から人物の心理までを表現します。

にんぎょう

人形

文楽の人形は、一体を三人で操ります。主遣い、左遣い、足遣いが息を合わせて動かすことで、人間さながらの表情やしぐさを生み出します。



2025. **11.16** 日

1回目 13:00～14:00

2回目 15:00～16:00

※受付・開場は各開演の30分前

大阪市立中央図書館 5階大会議室

参加
無料

各60名
程度

事前申込制

応募について

- ①応募対象年齢…12歳～18歳(男女問いません)
 - ②定員…各回60名程度
 - ③参加費…無料
 - ④応募方法・お名前(よみがな)・TEL・FAX・メールアドレス
 - ⑤参加人数(2名まで)
 - ⑥参加希望時間(1回目又は2回目)
- を明記の上、下記のいずれのか方法でご応募ください。

応募先

一般社団法人 アーツインテグレート

[メール] artsinteg@gmail.com

[FAX] 06-6372-3691 [WEB] <https://x.gd/Lcl5S>



応募先WEB

募集期間 **10.1(水)～11.7(金)23:59**

※応募者多数の場合は抽選とし、当選者のみに、メールまたはFAXにて、
11.10(月)までにご連絡いたします。

問合せ

一般社団法人 アーツインテグレート
TEL 06-6372-6707(平日10:00～17:30)
<https://www.osakabunraku.jp/>



WEBサイト



大阪市立中央図書館

〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2

TEL.06-6539-3326 <https://www.oml.city.osaka.lg.jp/>

Osaka Metro 千日前線・長堀鶴見緑地線「西長堀」駅7号出口より徒歩すぐ

第28回
大阪市
図書館
フェスティバル

作家による講演会や郷土に関する講座、おはなし会など、数々の催しを通じて、本と人、人と人との「出会いの場」を創り出し、図書館の魅力や読書の楽しさを伝えます。イベント一覧はこちらから▶

